



令和8年度
岩手県立久慈翔北高等学校
第1回学校運営協議会

次 第

- 1 開会のことば
- 2 校長あいさつ
- 3 学校運営協議会委員の委嘱
- 4 自己紹介
- 5 会長・副会長選出
- 6 議長選出
- 7 協議
 - (1) 概況説明
 - ア 学校経営計画（校長）
 - イ 働き方改革アクションプラン（校長）
 - ウ スクールポリシー（教務）
 - エ 魅力化ビジョン（教務）
 - オ 生徒在籍数（生徒指導）
 - カ 部活動（生徒指導）
 - キ 卒業生の進路状況（進路指導）
 - (2) 委員より御助言・御提言等
- 8 その他
- 9 閉会のことば

日時 令和8年5月13日(水)10時
会場 門前校舎 会議室

名簿

1 学校運営協議会委員

番号	氏名	所属	出/欠
1	小野寺 輝彦	野田村役場 未来づくり推進課 課長	出席
2	城内 治	県北ものづくり産業ネットワーク 副代表	出席
3	膳 棚 隆 弘	県北広域振興局 経営企画室 ものづくりネットワークコーディネーター	出席
4	晴 山 一 吉	(株)晴山組 代表取締役	欠席
5	佐 藤 仁 昭	野田村商工会 会長	出席
6	柏 崎 裕 之	久慈市立長内中学校 校長	出席
7	向 井 啓 益	久慈市漁業協同組合 参事	出席
8	石 渡 範	久慈商工会議所 経営支援課 課長	欠席
9	成 田 敦 子	P T A 役員	出席
10	久 慈 志 織	久慈市総合政策部 地域づくり振興課 課長	欠席

2 学校関係者

番号	氏名	所属
1	三 森 健	久慈翔北高等学校 校長
2	宮 沢 一 裕	久慈翔北高等学校 副校長 (野田校舎)
3	金 野 美 香	久慈翔北高等学校 副校長 (門前校舎)
4	三 澤 剛	久慈翔北高等学校 事務長
5	高 橋 優 子	久慈翔北高等学校 教諭 総務主任 (門前校舎)
6	石 村 法 隆	久慈翔北高等学校 教諭 教務主任 (門前校舎)
7	鶴 嶋 広 喜	久慈翔北高等学校 教諭 生徒指導主事 (野田校舎)
8	野 田 英 志	久慈翔北高等学校 教諭 進路指導主事 (野田校舎)
9	赤 坂 未 有	久慈翔北高等学校 総務課 (記録担当) (門前校舎)

7 協議

(1) 概況説明

ア 学校経営計画

令和8年度 岩手県立久慈翔北高等学校 経営計画

校長 三森 健

1 校訓・教育目標	<p>【校訓】 協調・創造・進取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健やかで調和がとれ、自他を敬愛する人間を育成する。 ・広い視野で未来を創造し、社会に柔軟に対応する人間を育成する。 ・自ら学びに向かい、地域の発展に寄与する人間を育成する。 	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	<p>(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に判断して行動し、目標に向けて努力し続ける力を育成します。 ・自らの課題を見出し、他者と協働して物事に取り組み、解決する力を育成します。 ・コミュニケーションや情報モラル、プレゼンテーションなど、社会人としての基盤能力を育成します。 ・他者や多様性を尊重するとともに、SDGsや国内外の異なる文化への理解を深められる力を育成します。 ・郷土に愛着と誇りを持って、地域を正しく理解し、地域の課題に目を向け、主体的に地域の発展に貢献できる力を育成します。
	<p>(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けることを目指し、主体的・対話的で深い学びにより、基礎学力の定着に取り組みます。 ・各系列や学科において、地域と協働した実践的な学びを行います。 ・系列や学科の特徴を踏まえた専門的な学びと多様な選択科目により、それぞれの将来の進路に合わせた学びを行います。 ・地域の産業振興に取り組む機関・団体等との連携による学習をとおして、伝統産業や地域産業を理解する取組を行います。 ・地域の自治体や大学等との連携による学習をとおして、共通科目の学習の深化を図る取組を行います。 ・インターンシップや企業見学、各系列及び学科の課題研究の成果発表等のキャリア教育を通じて、キャリア発達を促す取組を行います。
	<p>(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学業や部活動に「がんばろう！」と意欲をもつ生徒 ・自分の進路を真剣に考え、進路実現に向け努力を継続できる生徒 ・他者を思いやる優しさを持った生徒 ・ルールを守り、落ち着いた学校生活を送ることができる生徒 ・地域のことに関わる意欲をもつ生徒 ・仲間とともに協力して、地域課題の解決に積極的に取り組む生徒

<p>3 魅力化協働 パートナー</p>	<p>久慈農業改良普及センター、久慈地方「木の仕事」協議会、県北ものづくり産業ネットワーク、久慈ロータリークラブ、久慈市漁業協同組合、久慈市水産振興協議会、株式会社越戸商店、株式会社晴山組、久慈市雇用開発促進協議会、鶏王国北いわて推進協議会、久慈市子育て支援センター、久慈市ボランティア協議会、県北広域振興局、久慈市総合政策部地域づくり振興課、野田村役場未来づくり推進課、久慈商工会議所、野田村商工会、久慈市社会福祉協議会、東京大学生産技術研究所、東京海洋大学学術研究院 等</p>		
<p>4 目指す 学校像</p>	<p>(1) 今年度の重点目標</p>	<p>重点目標</p>	<p>達成指標</p>
		<p>ア 生徒の実態を適切に把握したきめ細やかな指導により確かな学力を育成する。</p>	<p>・教え方を工夫し、分かりやすい授業であると思う生徒の割合 【90%以上】</p>
		<p>イ キャリア教育の充実を図り、生徒の進路目標の実現を目指す。</p>	<p>・希望した進路目標を達成した生徒の割合【92%以上】</p>
		<p>ウ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処にあたる。</p>	<p>・高校生活が楽しく、満足している生徒の割合【91%以上】</p>
		<p>エ 地域に根ざし、地域の活性化に貢献し、地域に貢献する人材を育成する。</p>	<p>・地域に信頼され、必要とされている学校だと思える生徒の割合 【80%以上】</p>
		<p>オ 職員のチームワークとコンプライアンスの遵守</p>	<p>・社会的責任を自覚する取り組みをしている職員の割合【90%以上】</p>
		<p>カ 生徒と共感的な人間関係をつくとともに、不適切な指導の根絶に向けた体制を組織として構築する。</p>	<p>・生徒一人ひとりのことを考えながら公平に接して指導している 【85%以上】</p>
	<p>(2) 取組方針</p>	<p>ア 生徒の実態を適切に把握したきめ細やかな指導により確かな学力を育成する。 (ア) 授業アンケートにより、生徒のつまずきに着眼した授業改善に取り組む。 (イ) ユニバーサルデザインを考慮し生徒にわかりやすい授業を行う。研究授業・授業参観の積極的な推進により授業力向上を図る。 (ウ) 自ら課題を発見し解決に向けて取り組む学習を推進し、生涯学び続ける基盤を培う。</p>	

4 目指す 学校像	(2) 取組方針	<p>イ キャリア教育の充実を図り、生徒の進路目標の実現を目指す。</p> <p>(ア) 3年間を見通した進路指導計画の構築と組織的な進路指導を行う。</p> <p>(イ) インターンシップを適切な時期に実施し、勤労観・職業観を育成する。</p> <p>(ロ) 企業訪問や外部機関との連携を充実させ、情報提供を的確に行う。</p>
		<p>ウ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処にあたる。</p> <p>(ア) 生徒が主体的に活動する場を多くし褒め認め自己有用感を育成する。</p> <p>(イ) 教職員間の学校いじめ防止基本方針の周知徹底と校内研修の実施</p> <p>(ロ) 学校生活アンケート等を定期的に実施し、いじめ等トラブル防止に努め、発覚時は迅速かつ組織的に対応する。</p> <p>(ニ) 教育相談体制を充実させるとともに、生徒支援会議を定期的に開催し特別な支援を必要とする生徒、困難を抱える生徒の情報を共有しながら組織的な支援を行う。</p>
		<p>エ 地域に根ざし、地域の活性化に貢献し、地域に貢献する人材を育成する。</p> <p>(ア) 地域活動への積極的な参加、地域人材を活用した授業内容の充実等、地域の資源を生かした学校作りを推進する。</p> <p>(イ) 地域ものづくりネットワーク等と連携し、高度技能者・技術者の育成に取り組む。</p> <p>(ロ) 防災教育スクール、交流学習スクールとして、関係機関と連携して充実した取り組みを推進する。</p>
		<p>オ 職員のチームワークとコンプライアンスの遵守</p> <p>(ア) 何事も組織として対応できるチームワークの良い職場をつくり、高いコンプライアンス意識を持って教育活動に取り組む、爽やかに活気溢れる職場を全員でつくる。</p>
		<p>カ 生徒と共感的な人間関係をつくるとともに、不適切な指導の根絶に向けた体制を組織として構築する。</p> <p>(ア) 生徒の感情や心の状態の理解に努め、情報を共有しながら支援に努める。</p> <p>(イ) 教職員の研修機会を積極的に持ち、生徒の人権を尊重する意識の醸成をはかる。</p>
5 業務量管理・健康確保維持		<ul style="list-style-type: none"> ・教育において真に必要な観点から業務の見直しを推進する。 ・教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を縮減する。 ・休暇取得や勤務振替、ストレスチェックに基づく面接指導を勧奨する。

令和8年度 久慈翔北高等学校教職員働き方改革アクションプラン

久慈翔北高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状	2 目標・目指す姿
<p>【定量的現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況 時間外在校等時間が月80時間以上の者 R7年度:2人(参考:R6年度9人) ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数) R7年度:14日(参考:R6年度13日) <p>【定性的現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の意識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例職員会議等はペーパーレスで実施している。 ・ 保護者からの次席連絡はメールで受信、保護者への連絡は一斉メールで配信している。 ○ 管理職のマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・ スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。 	<p>県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。</p> <p>【学校独自の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員一人当たり1箇月の平均時間外在校等時間を25時間とすることを目指します。 ○ 年次休暇の平均取得日数を15日にします。 <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。 ・ 教職員一人ひとりが、やりがいを感じながら業務に取り組んでいる。 ・ 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

(1)	<p>教職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職が、休暇の取得や週休日の振替等について積極的に呼びかけを行います。 ・ 月の時間外在校等時間が月途中で20時間超となった教職員に声掛けし、健康確保の観点から個別にマネジメントを行います。
(2)	<p>学校における業務改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や授業の準備に集中できるよう業務の見直しを進めます。 ・ 保護者宛文書については紙での配付を廃止し、ホームページやメールでの配付・周知を行います。
(3)	<p>業務の明確化・適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけたよう説明をします。 ・ 週休日の部活動の遠征については、保護者による送迎の協力をいただきます。
<p>令和8年度重点取組事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「働き方改革子チェックシート」を活用し、教職員一人ひとりの業務改善に努めます。 	

- ・ プランを学校ホームページに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 学校運営協議会等を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。

ウ スクールポリシー

岩手県立久慈翔北高等学校 三つの方針（スクール・ポリシー）

1 学校教育目標

- | |
|---|
| 1 心身ともに健やかで調和がとれ、自他を敬愛する人間を育成する。
2 広い視野で未来を創造し、社会に柔軟に対応する人間を育成する。
3 自ら学びに向かい、地域の発展に寄与する人間を育成する。 |
|---|

2 三つの方針（スクール・ポリシー）

	スクール・ポリシー
グラデュエーション・ポリシー	<p>★このような力を育成します★</p> <p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に判断して行動し、目標に向けて努力し続ける力を育成します。 ・自らの課題を見出し、他者と協働して物事に取り組み、解決する力を育成します。 ・コミュニケーションや情報モラル、プレゼンテーションなど、社会人としての基盤能力を育成します。 ・他者や多様性を尊重するとともに、SDGsや国内外の異なる文化への理解を深められる力を育成します。 ・郷土に愛着と誇りを持って、地域を正しく理解し、地域の課題に目を向け、主体的に地域の発展に貢献できる力を育成します。 <p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業の各分野の専門的な知識と技術・技能を身に付け、地域産業の中核を担うための力を育成します。 ・ものづくりを通して他者と協働しながら課題を解決し、新しい付加価値を創造する力を育成します。 <p>【総合学科】</p> <p>○人文科学系列・自然科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路希望に対応するとともに、大学等へ進学する生徒に必要な確かな学力を育成します。 <p>○環境緑化系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業における知識と技術を身に付け、地域や社会の課題を解決する力を育成します。 <p>○情報ビジネス系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス活動における「分析力」・「計算力」・「コミュニケーション力」等を身に付け、地域貢献の姿勢をもった経済社会の発展に寄与する力を育成します。 <p>○海洋科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋、水産の知識と技術の学びを通して、水産業の担い手としての態度及び課題を解決する力を育成します。 <p>○食物系列</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師に求められる職業人として必要な豊かな人間性と、食生活の充実向上を目指し、調理師に求められる社会的使命を果たす力を育成します。 <p>○介護福祉系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な授業や現場実習を通して、体系的・系統的に理解し技術を身に付け、課題を発見し解決する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	<p>★このような学び・教育活動を行います★</p> <p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けることを目指し、主体的・対話的で深い学びにより、基礎学力の定着に取り組みます。 ・各系列や学科において、地域と協働した実践的な学びを行います。 ・系列や学科の特徴を踏まえた専門的な学びと多様な選択科目により、それぞれの将来の進路に合わせた学びを行います。 ・地域の産業振興に取り組む機関・団体等との連携による学習を通して、伝統産業や地域産業を理解する取組を行います。 ・地域の自治体や大学等との連携による学習を通して、共通科目の学習の深化を図る取組を行います。 ・インターンシップや企業見学、各系列及び学科の課題研究の成果発表等のキャリア教育を通じて、キャリア発達を促す取組を行います。 <p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業科の専門科目の学習により身に付けた知識・技術を活用して、地域課題の解決を図る学習の取組を行います。 ・実践的・体験的な学習活動や職業資格の取得、競技会への出場を通じて、学ぶ意欲を高める取組を行います。 <p>【総合学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「産業社会と人間」において、自己理解と自己の進路について考える学習を行います。 ・「総合的な探究の時間」の活動を通して、様々な課題と向き合い、地域理解や地域貢献等体験的な学びを行います。 <p>○人文科学系列・自然科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実践し、大学等へ進学するために必要な確かな学力を身につけさせる指導の充実を行います。 <p>○環境緑化系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農林業や関連機関との連携・交流を通じた実践的な活動を取り入れ、学びの充実を図ります。 <p>○情報ビジネス系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と連携を図りながら、「販売実習」をはじめとした体験的・実践的な学びと、ICTを有効に活用し、主体的・対話的で深い学びを推進します。 <p>○海洋科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した体験的な学びを通して、地元水産業について理解しながら、生徒の興

	<p>味・関心や課題発見に基づく学習を深めます。</p> <p>○食物系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づいた実験実習を通して、基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、安全な食を提供するための学習に取り組みます。 ・外部機関と連携した実践的な学習により、職業観を深め、食文化の継承を図ります。 <p>○介護福祉系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する基本的な技術を体験的に学習します。 ・実務者研修を履修し、将来の国家資格取得に向けて取り組みます。
アドミッション・ポリシー	<p>★このような生徒を求めます★</p> <p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業や部活動に「がんばろう！」と意欲をもつ生徒 ・自分の進路を真剣に考え、進路実現に向け努力を継続できる生徒 ・他者を思いやる優しさを持った生徒 ・ルールを守り、落ち着いた学校生活を送ることができる生徒 ・地域のことに関わる意欲をもつ生徒 ・仲間とともに協力して、地域課題の解決に積極的に取り組む生徒 <p>【工業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業の内容に興味・関心があり、地域や社会の発展に貢献したい生徒を求めます。 ・将来の夢の実現に向けて、ものづくりについて意欲的に学びたい生徒を求めます。 <p>【総合学科】</p> <p>○人文科学系列・自然科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等への進学に対し強い意志をもち、地域に貢献する意欲をもった生徒を求めます。 <p>○環境緑化系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農業や林業に関心があり、体験的・実践的な学習活動に意欲のある生徒を求めます。 <p>○情報ビジネス系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「商業」に関する科目に興味・関心をもち、意欲的に課題等に取り組むことができる生徒を求めます。 <p>○海洋科学系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海や自然を愛し、積極的に海洋水産を学ぶ意欲がある生徒を求めます。 <p>○食物系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」について広い視野と科学的視点で捉え、学習活動に意欲的に取り組む生徒を求めます。 <p>○介護福祉系列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護・福祉などの分野への就職や進学を目指す生徒を求めます。

3 連携先

	魅力化協働パートナー（団体名・個人名）	地域 *1	大学 *2	産業 *3	その他	学校運営 協議会*4
1	野田村役場 未来づくり推進課 課長	○				○
2	県北ものづくり産業ネットワーク 副代表			◎		○
3	県北広域振興局 経営企画部 産業振興室 ものづくりネットワークコーディネーター	○				○
4	(株)晴山組 代表取締役			◎		○
5	野田村商工会 会長			◎		○
6	久慈市立長内中学校 校長	○				○
7	久慈市漁業協同組合 参事			◎		○
8	久慈商工会議所 経営支援課長			◎		○
9	P T A 役員	○				○
10	久慈市総合政策部地域づくり振興課 課長	○				○

* 1 地域の行政機関、事業者、地域活性化に取り組む機関・団体及び個人

* 2 大学等、国の機関又は国際機関、国際的な活動に取り組む機関・団体及び個人

* 3 企業、産業技術研究機関、産業振興に取り組む機関・団体及び個人

* 4 学校運営協議会委員に委嘱されている場合に○をつける。

4 特色ある教育課程（探究）

具体的 な内容	【工業科】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座「地域未来学」 ・ 課題研究発表会 ・ 地域産業講座 ・ 技能検定実技講習会 ・ 出前授業実習（プログラミング教室） ・ 3D-CAD講習会 ・ 工場見学会事業 ・ 2級土木施工管理技術講習 ・ 2級建築施工管理技術講習 ・ ドローン実習講習会 ・ 測量士、測量士補講習会 ・ 建設工事現場見学会 ・ 久慈琥珀採掘体験 ・ のだ塩づくり体験 	【総合学科】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食の匠による郷土料理伝承会 ・ 県北チキン産業に関する出前講座 ・ 西洋料理実技講習会 ・ テーブルマナー講習会 ・ すし技術講習会 ・ 和菓子講習会 ・ フラワーアレンジメント教室 ・ 林業体験講座 ・ ものづくりマイスター事業 ・ 介護施設等の現場実習 ・ 販売実習 ・ ギンザケ、ギンポ複合養殖実験 ・ ギンポ飼育実験 ・ 水産食品製造現場実習 ・ 明日の浜人養成塾事業 ・ 学習成果発表会
------------	--	---

オ 生徒在籍数

(7) 校舎別生徒数

	野田校舎	門前校舎	合計
生徒数	43	339	382

(イ) クラス別生徒数

年	クラス	男	女	計
1年	工業科	10	1	11
	総合学科1組	9	11	20
	総合学科2組	9	11	20
	総合学科3組	9	11	20
	総合学科4組	8	12	20
	総合学科5組	8	11	19
	計	53	57	110
2年	工業科	12	1	13
	総合学科1組	10	15	25
	総合学科2組	11	14	25
	総合学科3組	10	13	23
	総合学科4組	11	14	25
	総合学科5組	10	15	25
	計	64	72	136
3年	電子機械科	7	3	10
	建設環境科	6	3	9
	総合学科1組	11	11	22
	総合学科2組	12	12	24
	総合学科3組	12	12	24
	総合学科4組	12	13	25
	総合学科5組	10	12	22
計	70	66	136	
4年	計	0	0	0
野田校舎		35	8	43
門前校舎		152	187	339
合計		187	195	382

(ウ) 2・3年次系列別生徒数 (門前校舎)

系列		2年	3年	合計
人文科学系列	人文	7	13	20
	自然Ⅰ	7	5	12
	自然Ⅱ	3	5	8
	計	17	23	40
環境緑化系列	生物生産	5	12	17
	森林生態	8	6	14
	計	13	18	31
海洋科学系列		10	10	20
食物系列		15	13	28
介護福祉系列		25	8	33
情報ビジネス系列	経営情報	3	5	8
	簿記会計	9	8	17
	流通ビジネス	31	32	63
	計	43	45	88
合計		123	117	240

(イ) 出身中学校別生徒数

市町村	中学校	1年		2年		3年		合計
		野田校舎	門前校舎	野田校舎	門前校舎	野田校舎	門前校舎	
久慈市	久慈	1	42	4	51	3	33	134
	長内	5	19	2	19	2	21	68
	大川目	0	3	0	2	0	6	11
	夏井	0	3	0	5	0	5	13
	侍浜	1	5	0	5	0	2	13
	宇部	1	4	1	3	1	2	12
	三崎	0	2	0	6	1	4	13
	山形	0	2	1	0	0	3	6
洋野町	種市	0	2	0	9	0	8	19
	中野	0	3	0	0	0	8	11
	大野	0	2	0	3	0	2	7
野田村	野田	1	9	5	7	8	10	40
普代村	普代	1	2	0	13	3	6	25
田野畑村	田野畑	0	1	0	0	0	7	8
その他		1	0	0	0	1	0	2
合計		11	99	13	123	19	117	382

(オ) 通学状況

住居	1年		2年		3年		4年	合計
	野田	門前	野田	門前	野田	門前		
自宅	11	99	13	123	18	116	0	380
自宅外	0	0	0	0	1	1	0	2
合計	11	99	13	123	19	117	0	382

通学方法	1年		2年		3年		4年	合計
	野田	門前	野田	門前	野田	門前		
徒歩	0	35	3	22	0	20	0	80
自転車	0	21	1	20	0	17	0	59
バス	0	4	0	6	1	4	0	15
列車	8	17	6	24	8	33	0	96
自家用車	3	22	3	51	10	43	0	132
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	99	13	123	19	117	0	382

カ 部活動

(7) 部員数と活動場所

部 名		部員数			合計	活動場所
		1年	2年	3年		
1	陸上競技	7	6	1	14	門前
2	バスケットボール (男子)	1	3	1	5	野田
3	バスケットボール (女子)	2	4	1	7	門前
4	バレーボール (男子)	6	7	7	20	野田
5	バレーボール (女子)	5	8	4	17	野田
6	卓球 (男子)	2	4	13	19	門前
7	卓球 (女子)	0	2	0	2	門前
8	ソフトテニス (男子)	10	7	4	21	門前
9	ソフトテニス (女子)	3	1	5	9	門前
10	サッカー	3	10	0	13	門前
11	バドミントン (男子)	8	7	14	29	門前
12	バドミントン (女子)	9	7	2	18	門前
13	柔道	0	2	5	7	門前
14	ソフトボール	4	0	0	4	門前
15	剣道	0	5	2	7	門前
16	ウエイトリフティング	2	2	1	5	野田
17	弓道	8	1	9	18	門前
18	硬式野球	5	9	5	19	野田
19	吹奏楽	3	5	5	13	門前
20	美術	2	4	4	10	両校舎
21	文芸	0	0	4	4	門前
22	料理	1	3	10	14	野田
23	華道	0	0	3	3	門前
24	写真	0	1	5	6	門前
25	書道	0	3	2	5	門前
26	手芸	2	6	0	8	門前
27	工学研究	3	4	4	11	野田
28	コンピュータ	4	4	4	12	門前
29	茶道	1	4	2	7	門前
30	チアダンス	1	9	5	15	門前
31	囲碁将棋	0	0	2	2	門前
合計		92	128	124	344	

令和8年4月現在

(イ) 部活動に係るバスの運行計画基本方針

【管理・保管・発着】

- 1 部活動バスは農場実習用バスと活用するため管理・保管場所は門前校舎となる。
- 2 出発地は常に門前校舎からであり、最終の到着地も門前校舎となる。

【通常運行A（2台）】 授業日として生徒が登校する平日（祝日は除く）

- 1 野田校舎の生徒送迎（門前校舎→野田校舎→門前校舎→野田校舎→門前校舎）

[部活動前運行]

- ① 門前校舎を15：30に野田校舎に向けて出発する。（回送）
- ② 野田校舎を16：00に門前校舎に向けて出発する。

[部活動後運行]

- ③ 門前校舎を18：30に野田校舎に向けて出発する。
- ④ 野田校舎を19：00に門前校舎に向けて出発する。（回送）

- 2 門前校舎の生徒送迎（門前校舎→野田校舎→門前校舎）

[部活動前運行]

- ① 門前校舎を16：00に野田校舎に向けて出発する。
- ② 野田校舎を18：30に門前校舎に向けて出発する。

【週末運行（1台）】 長期休業間を除く祝日以外の土曜日

- 1 両校舎の生徒送迎（門前校舎→野田校舎→門前校舎→野田校舎→門前校舎）

[部活動前運行]

- ① 門前校舎を 8：10に野田校舎に向けて出発する。
- ② 野田校舎を 8：40に門前校舎に向けて出発する。

[部活動後運行]

- ③ 門前校舎を11：55に野田校舎に向けて出発する。
- ④ 野田校舎を12：25に門前校舎に向けて出発する。

【長期休業運休（1台）】 祝日を除く月曜日から土曜日

- 1 両校舎の生徒送迎（門前校舎→野田校舎→門前校舎→野田校舎→門前校舎）

[部活動前運行]

- ① 門前校舎を 8：10に野田校舎に向けて出発する。
- ② 野田校舎を 8：40に門前校舎に向けて出発する。

[部活動後運行]

- ③ 門前校舎を11：50に野田校舎に向けて出発する。
- ④ 野田校舎を12：20に門前校舎に向けて出発する。

キ 卒業生の進路状況

卒業生	就 職					進 学						その他
	公務員	管内	県内	県外	計	四大	短大	短大	専修	計		
148	5	22	17	35	79	13	13	6	5	29	66	3

就職先内定企業一覧 (79名)

【公務員】 (5名)

岩手県警察 (警察官2) 久慈市役所 自衛隊 (一般曹候補生) 普代村役場

【管内】 (22名)

株式会社カヌカテックプラス (電気工事士3) 株式会社十文字カンパニー久慈工場 (チキン製造スタッフ) 株式会社ジュークス (生産管理・製造管理・品質管理) 宮城建設株式会社 (建設機械オペレーター1、土木施工管理職2、事務総合職1) 下館建設株式会社 (重機オペレーター) ミドリ久慈衣料株式会社 (ソーイングスタッフ) 社会福祉法人みちのく大寿会 (介護職員1、調理師1) やまぐち歯科医院 (歯科助手2) 普代村漁業協同組合 (事務・現業) 有限会社丸大県北農林 (現場作業員) 社会福祉法人普代福社会 (介護員2) 株式会社プランタンいずみ (裁断、縫製、仕上げ等) 株式会社岩手村田製作所久慈工場 (製造業) 株式会社十文字丸善スープ (スープ製造スタッフ)

【県内】 (17名)

エクナ株式会社 (カスタマエンジニア) 株式会社北上テクノ (装置組立、設計、ソフト開発) 株式会社多加良製作所岩手工場 (技能職) 株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント亀の井ホテル一関 (レストランサービススタッフ) 丸奥自動車工業株式会社 (自動車販売整備2) 株式会社カガヤ (製造作業員) 株式会社ツガワ二戸工場 (金属加工職/調達事務職) トヨタカローラ岩手株式会社 (事務職) 株式会社フレンドステージ山の神温泉優香苑 (サービススタッフ) キオクシア岩手株式会社 (技能職2) 株式会社岩手銀行 (銀行業務) 田野畑村漁業協同組合 (事務・現業) 一般財団法人休暇村協会休暇村陸中宮古 (ホテルスタッフ) 社会福祉法人岩手共同福社会特別養護老人ホームはなみずき (介護職員) 雄勝セラミックス株式会社北上事業所 (積層セラミックチップコンデンサ製造、設備オペレーター)

【県外】 (35名)

株式会社シボックス (CADオペレーター) 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド品川プリンスホテル (ホテルサービス) 株式会社ユアテック (電気技術者) 株式会社HYSエンジニアリングサービス (社内情報システムの開発・運用・保守・サポート) 荏原環境プラント株式会社 (ごみ処理施設の運転保守管理) 日本道路株式会社 (土木工事に関する施工・管理等技術的業務) 株式会社カットツイン (美容師) 日本地下石油備蓄株式会社 (専門・技術職) 金谷ホテル株式会社 (調理) 株式会社王将フードサービス餃子の王将 (店舗スタッフ) 株式会社シャポンドゥ (調理・販売) 日本フードパッカー株式会社青森工場 (事務職) 株式会社緑水亭 (調理係) 社会福祉法人寿栄会特別養護老人ホーム寿楽荘 (介護職員2) 株式会社あきんどスシロー (店舗スタッフ) 有限会社三谷組 (左官職人) 株式会社ホテル瑞鳳 (ホテル接客業務) セコム株式会社 (現金護送1、機械警備2) 株式会社永沢興業 (建設機械オペレーター) 株式会社動電舎 (施工管理スタッフ) 丸良建設株式会社 (コンクリート部品の製作) 有限会社ダイニングカンパニー (ホールスタッフ) 株式会社ユニバー (販売職・チェッカー) 株式会社ロピア (販売職) 株式会社共立メンテナンス (ホテルスタッフ) 株式会社マルイチ水産LTD (魚の選別・仕入・加工・出荷・管理) 社会福祉法人キングス・ガー

デン東京（介護職員）株式会社 I J T T 宮城工場（自動車部品の金属成形）株式会社オオゼキ（販売職）フリホーレス株式会社（製造・販売職）山崎製パン株式会社（生産職）株式会社ボディワークセラピストエージェンシー（ボディセラピスト・アロマセラピスト・エステティシャン）

進学先学校一覧 (66名)

【国公立大学】(7名)

釧路公立大学（経済学部）岩手大学（理工学部理工学科3）岩手県立大学（ソフトウェア情報学部2、総合政策学部1）

【私立大学】(6名)

盛岡大学（文学部児童教育学科）東北学院大学（経営学部経営学科）八戸工業大学（工学部工学科）八戸学院大学（健康医療学部人間健康学科2）岩手保健医療大学（看護学部）

【国公立短期大学】(5名)

岩手県立大学盛岡短期大学部（国際文化学科1、生活科学科食物栄養学専攻1）岩手県立大学宮古短期大学部（経営情報学科3）

【私立短期大学】(8名)

八戸学院大学短期大学部（幼児保育学科3）仙台青葉学院短期大学（栄養学科1、観光ビジネス学科1、言語聴覚学科1、ビジネスキャリア学科1、現代英語学科1）

【文科省以外の学校】(6名)

青森県立八戸工科学院（自動車整備科2）国立宮古海上技術短期大学校（海技士教育科海技課程専修科3）いわて林業アカデミー

【看護・医療系学校】(5名)

岩手県立二戸高等看護学院 花巻高等看護専門学校（看護科）千葉労災看護専門学校 横浜中央看護専門学校（看護学科2）

【各種専修学校】(29名)

専門学校アレック情報ビジネス学院（総合事務科メディカルコース）八戸保健医療専門学校（歯科衛生学科）岩手医科大学医療専門学校（歯科衛生学科）北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ（高度製菓衛生師科2）北日本ヘア・スタイリストガレッジ（美容科）北日本医療福祉専門学校（こどもマイスター養成科）上野法律ビジネス専門学校（法律行政学科初級公務員・鉄道・郵政コース1、行政学科初級公務員コース1）盛岡情報 I T クリエイター専門学校（ゲーム制作）盛岡ヘアメイク専門学校（美容科）MCL 盛岡外語観光&ブライダル専門学校（ホテルビジネス科）東北ヘアモード学院（美容科）東北保健医療専門学校（歯科衛生学科）仙台医健・スポーツ専門学校（プロスポーツトレーナー科パーソナルトレーナーコース）仙台ウェディング&ブライダル専門学校（ブライダルヘアメイク&ドレス科）仙台ヘアメイク専門学校（ビューティービジネス科エステティックコース1、美容本科1）仙台ビューティーアート専門学校（ヘアメイク科2）仙台デザイン専門学校（グラフィックデザイン科）仙台総合ペット専門学校（飼育管理科飼育コース）東京 I T プログラミング&会計士専門学校仙台校（ビジネス学科経理ビジネスコース）仙台大原簿記情報公務員専門学校（税理士会計士学科税理士コース）専門学校デジタルアーツ仙台（ゲームクリエイター科）東京 I T 会計公務員法律専門学校大宮校（会計士コース）専門学校東京ビジネス・アカデミー（経営学科流通・マーケティング専攻）横浜ビューティーアート専門学校（トータルビューティー科）大原簿記公務員専門学校千葉校（経理ビジネスコース）

(2) 委員より御助言・御提言等

岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則をここに公布する。

令和2年2月28日

岩手県教育委員会

教育長 佐藤 博

岩手県教育委員会規則第2号

岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第47条の5の規定に基づき、県立学校（以下「学校」という。）における同条第1項に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の設置等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 岩手県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、法第47条の5第1項の規定に基づき、別に定める学校（以下「対象学校」という。）に協議会を設置する。

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員の任期は、1年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(守秘義務)

第4条 委員は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が対象学校の校長（以下「校長」という。）と協議の上、招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(基本的な方針の作成及び承認)

第7条 法第47条の5第4項の教育委員会規則で定める事項は、校長が必要と認める事項とする。

(意見の申出)

第8条 協議会は、法第47条の5第6項の規定に基づき意見を述べるときは、校長を経由するものとする。

2 法第47条の5第7項の教育委員会規則で定める事項は、次に掲げる事項（特定の個人に係るものを除く。）とする。

(1) 対象学校の運営の基本的な方針の実現に資する事項

(2) 対象学校の教育上の課題を踏まえた事項

3 協議会は、法第47条の5第7項の規定に基づき意見を述べるときは、あらかじめ校長の意見を聴取するものとする。

(対象学校の運営状況についての評価)

第9条 協議会は、対象学校の運営及び当該運営への必要な支援のため、毎年度1回以上対象学校の運営状況について評価を行うものとする。

(指導、助言等)

第10条 教育委員会は、協議会の運営状況についての的確に把握し、必要に応じて指導及び助言をするものとする。

2 教育委員会及び校長は、協議会が適切な合意形成を図るために必要な情報を提供するよう努めなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。